

平成27年度

平野屋新田会所 市民サポーター活動報告書



平成28年3月31日

平野屋新田会所 市民サポーター会議

はじめに

平野屋新田会所市民サポーター会議は、近世の新田開発を象徴する遺産である平野屋新田会所跡の整備と活用にあたり、市民の意見を取り入れようと、平成26年度に創設された市民協働の制度です。教育委員会の募集に応じて集まった私たち市民サポーターは、平野屋新田会所の歴史や周辺の状況について理解するため、養成講座や様々な見学会に参加し、幅広い知識の習得に努めました。

活動2年目となる平成27年度は、これまでに学んだ成果を生かし、多くの市民の方に平野屋新田会所跡の価値を知っていただくとともに、私たち市民サポーターの仲間を増やすため、見学会やパネル展などの企画運営に初めて取り組みました。11月と3月に実施した見学会「平野屋新田会所跡と新田開発の遺産をめぐる」・「旧河川と平野屋新田会所跡を訪ねて」では、平野屋新田会所跡と周辺の井路（水路）・樋門・河川跡などの遺産を一般参加の方々といっしょに歩き、私たちがガイドを行いました。また、3月に生涯学習センター・アクロスで開催したパネル展「大東の遺産 平野屋新田会所跡と新田開発」では、平野屋新田会所の歴史や市民サポーターの活動を、私たちが制作したパネルと映像で紹介し、多くの方に来場していただきました。

この報告書は、見学会やパネル展など平成27年度に実施した19回にわたる市民サポーターの活動について、まとめたものです。これを端緒に、今後の平野屋新田会所跡の整備・活用により深く関わることができれば幸いと考えます。

平成28年3月吉日

平野屋新田会所 市民サポーター一同

も く じ

はじめに

I 平野屋新田会所 市民サポーター 27年度活動報告……………	1
◆詳報①見学会「平野屋新田会所跡と新田開発の遺産をめぐる」……………	4
<見学会コース地図>……………	5
<現地設置パネル>……………	6
◆詳報②パネル展「大東の遺産 平野屋新田会所跡と新田開発」……………	7
<会場に展示したパネル>……………	7
<上映映像・平野屋新田会所へようこそ>……………	10
<見学者からいただいた意見・感想・提案>……………	12
◆詳報③見学会「旧河川と平野屋新田会所跡を訪ねて」……………	14
<見学会コース地図>……………	15
II サポーターの思い……………	16

おわりに

平成27年度 平野屋新田会所 市民サポーター 名簿

I. 平野屋新田会所 市民サポーター 27年度活動報告

平成27年度は、見学会・パネル展・調査・座学など19回の活動を実施しました。

- ① 5月9日(土) 今年度の活動計画について話し合い、11月にサポーターが企画運営する平野屋新田会所跡見学会を実施することを決定した。
- ② 5月23日(土) 江戸時代の絵図に描かれた水路や樋門の場所を確認し、谷川・深野南地区に残る樋門を実際に調査した。



- ③ 6月13日(土) 11月の見学会に向けて、パネル班とガイド班に分かれて、作業を開始した。
- ④ 6月27日(土) 11月見学会の準備(現地パネル案の検討、見学会コース下見)。
- ⑤ 7月12日(日) 加賀屋新田会所見学会(大阪市住之江区)
大阪府下に現存する三会所の一つ・加賀屋新田会所を見学し、住之江のまち案内ボランティアの方との意見交換も行った。



- ⑥ 7月25日(土) 11月見学会準備(現地パネルのデザイン決定、見学コース内の説明ポイント・タイムスケジュールの確認)。

- ⑦ 8月22日(土) 11月見学会時に現地に設置するパネルの制作作業を行った。
(来ぶらり四条)



- ⑧ 9月6日(日) 講座「大和川の付け替えと河内平野の水利環境」(来ぶらり四条)
講師：市川秀之滋賀県立大学教授
大和川付け替えの歴史や新田開発後の土地利用について学んだ。



- ⑨ 9月26日(土) 11月見学会リハーサル

- ⑩ 10月18日(土) 見学会「大和川付け替えの跡を歩く」(柏原市)
講師：安村俊史 柏原市立歴史資料館館長
柏原市立歴史資料館の企画展や大和川の堤防跡等を見学した。



- ⑪ 11月7日(土) 11月見学会事前打ち合わせ

- ⑫ 11月29日（日） 見学会「平野屋新田会所跡と新田開発の遺産をめぐる」
（詳報①参照）
- ⑬ 12月13日（土） 11月見学会反省会
- ⑭ 1月23日（土） 3月に、生涯学習センター・アクロスで、平野屋新田会所の歴史やサポーターの活動を紹介するパネル展を実施することを決定した。
- ⑮ 2月13日（土） 3月のパネル展に向けて、パネル班、映像班、見学会班の3班に分かれて、作業を開始した。
- ⑯ 2月28日（日） パネル展事前打ち合わせ
- ⑰ 3月12日（土） 川中邸見学会（東大阪市）
講師：川中知子今米緑地保全会代表
大和川付け替えゆかりの地・川中邸を見学し、屋敷の維持管理や活用方法について話をうかがった。



- ⑱ 3月24日（木）～3月29日（火）

パネル展「大東の遺産～平野屋新田会所跡と新田開発～」（詳報②参照）

- ⑲ 3月27日（日） 見学会「旧河川と平野屋新田会所跡を訪ねて」（詳報③参照）

◆詳報① 見学会「平野屋新田会所跡と新田開発の遺産を巡る」

開催日：平成27年11月29日（日）

集 合：大東市民会館

参加者：一般参加13名、サポーター14名

コース：5ページ地図参照

平成26年度にサポーター活動を開始して以来、初めてサポーターの企画運営による見学会を実施しました。当日は、大東市民会館を出発し、旧深野南新田の井路や樋門のガイドをしながら、平野屋新田会所跡まで案内しました。

市民会館から坐摩神社までは見学会班が誘導しました。大東公園付近では、鍋田川の現在と過去についてガイドし、昔の雰囲気が残されている田園風景から往時の様子を感じとっていただき、「かみなり樋門」では樋門や井路の役割についてガイドしました。また、平野屋地区では、井路と井路が交差する「どんばの伏せ越し樋」、中垣内村と深野南新田の境界にあった「又の刻印石」、坐摩神社の由緒、会所と小作人との関係を示す農民感謝碑などをガイドしました

ゴールの平野屋新田会所跡では、大和川の付け替えや深野池の開発の歴史や、平野屋新田会所の役割、往時の会所屋敷の様子について、パネル班が現地パネルを用いてガイドしました。

見学会を通して、平野屋新田会所跡が大東の重要な歴史遺産であることを、参加者の方々に知っていただくことができました。



かみなり樋門のガイド



会所跡のガイド

<現地設置パネル>

現地パネル①

平野屋新田会所跡

江戸時代初めまで、大和川は、河内平野を数河川に分かれて流れ、京橋で淀川と合流していたため、大雨のたびに洪水を引き起こし、人々の生活を苦しめてきました。そのため、大和川付け替え運動があり、幕府を動かして、宝永元年（1704）に柏原から堺へ通じる、新しい大和川が完成しました。

これにより、深野池や旧河川が次々と開発され、新しい土地が完成しました。この中で、深野南新田、河内屋南新田が平野屋又右衛門の所有となり、広大な新田を管理・監督するために設立されたのが、この会所です。かつては、東西120m、南北60mあり、長屋門をはじめ主屋棟、屋敷棟、米蔵、道具蔵などが存在しました。



平野屋新田会所表長屋門



平野屋新田会所跡航空写真

現地パネル②

大和川の付け替えと深野池新田開発



新・旧大和川の流路



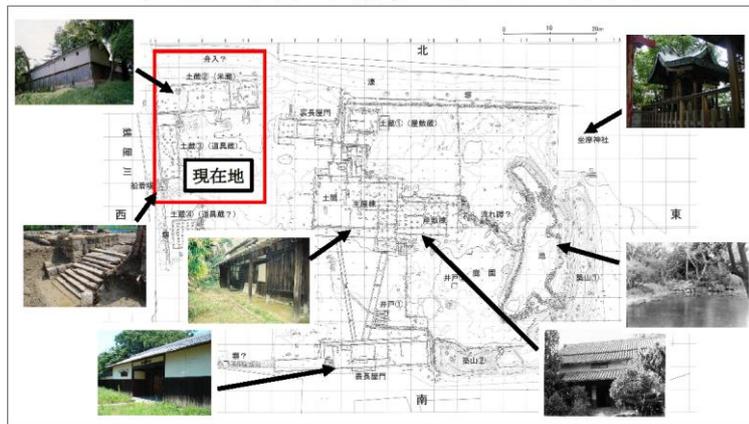
深野池の範囲



深野新田の名称

現地パネル③

平野屋新田会所屋敷地全体図



面積：約7200㎡（約2400坪）

◆詳報② パネル展「大東の遺産～平野屋新田会所跡と新田開発～」

開催日：平成28年3月24日（木）～3月29日（火）

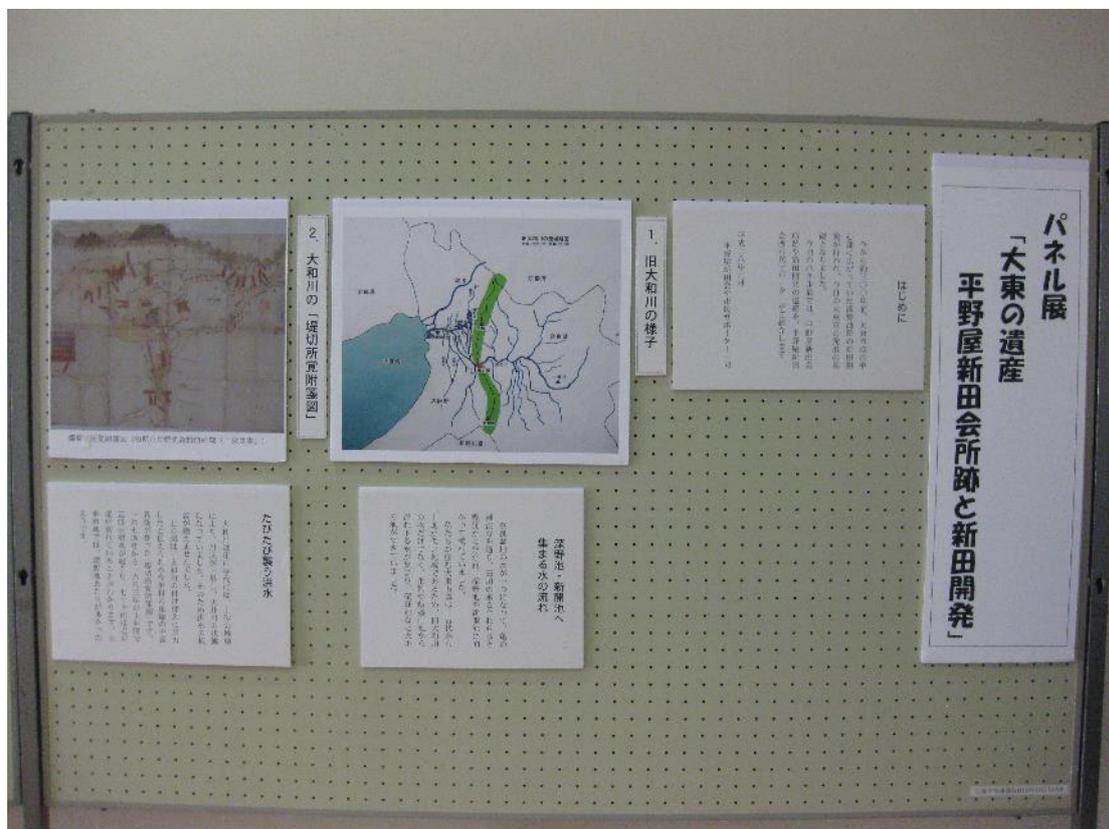
場 所：大東市立生涯学習センター・アクロス 1階 市民ギャラリーB

来場者：149名

平野屋新田会所跡の歴史・現状と私たち市民サポーターの活動をパネルと映像（10ページ参照）で紹介し、サポーター活動への参加を市民に呼びかけました。このような展示会を開催したのは、平成20年に平野屋新田会所の建物が取り壊されて以来初めてのことで、大変意義あるものとなりました。展示の最後のコーナーでは、会所跡の整備活用のアイデアを募集し、見学者の方から様々な意見を書き込んでいただきました。（12ページ〈見学者からいただいた意見・感想・提案〉参照）

今後もこのような展示会を市内各所で開催し、平野屋新田会所跡の現状と未来について、市民全体に関心を持っていただけるよう工夫していきたいと思います。

〈会場に展示したパネル〉



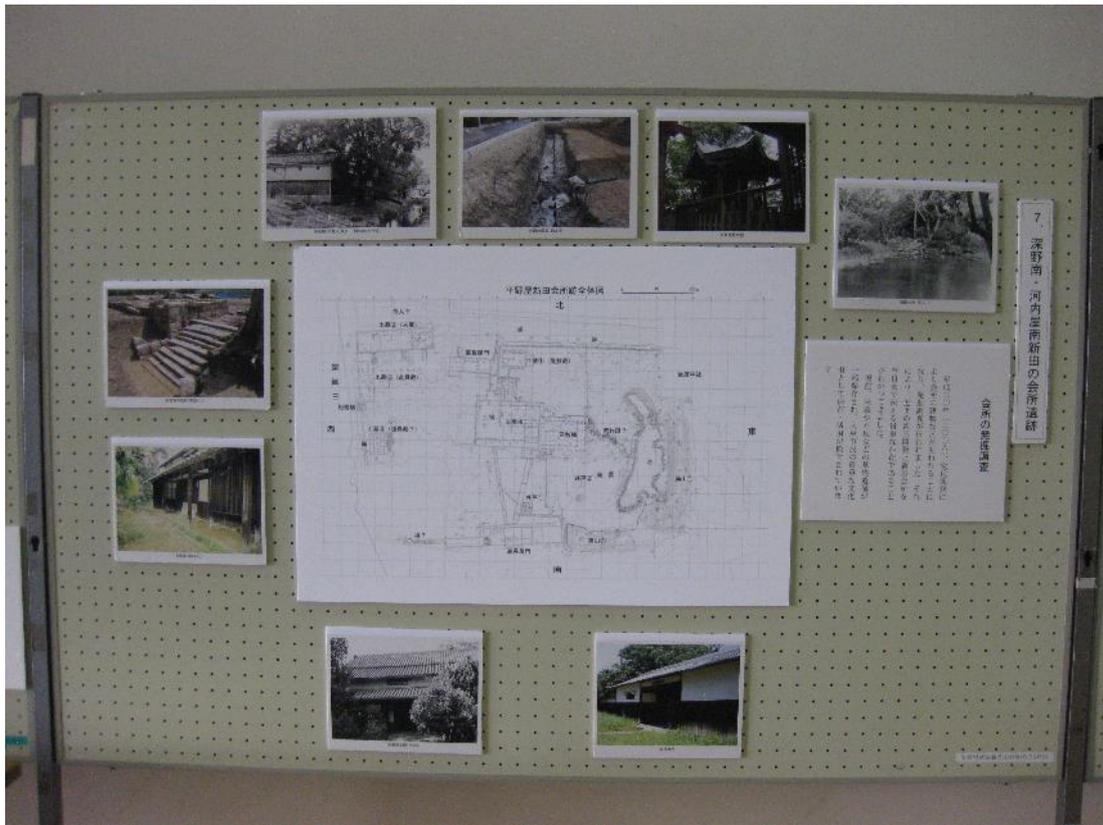
パネル展示①「大和川付け替え前の河内平野」



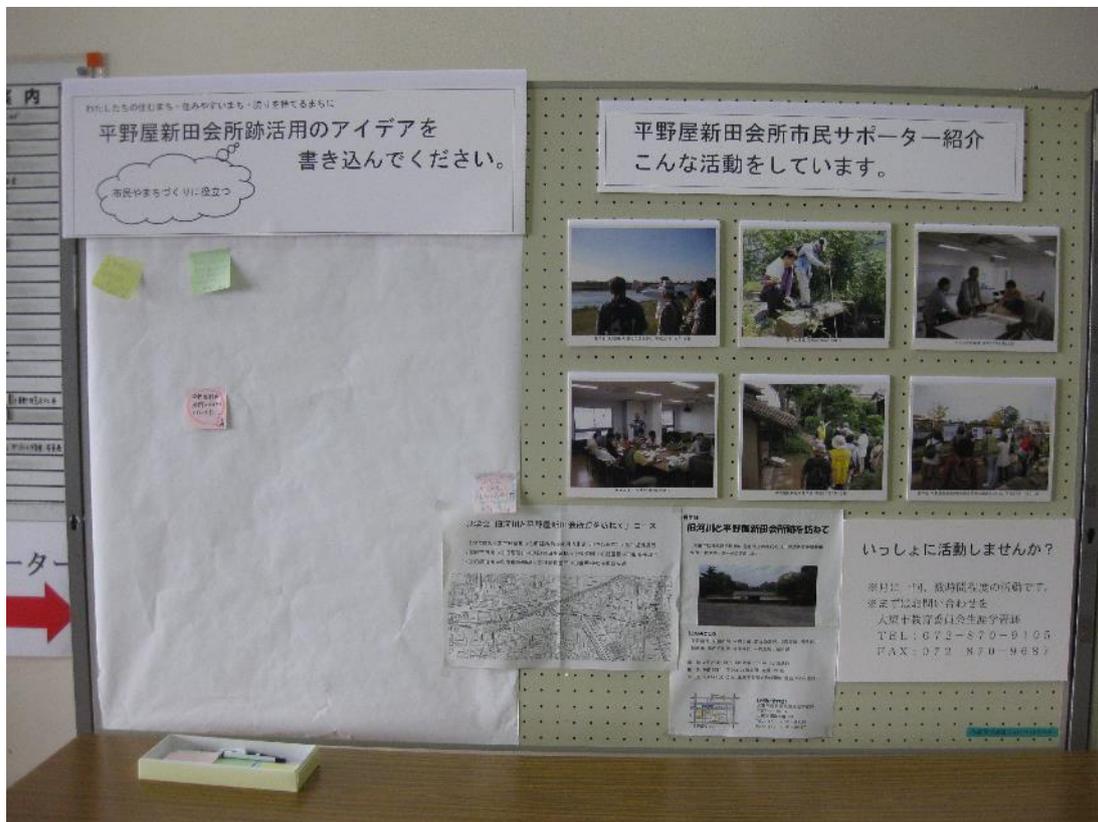
パネル展示②「大和川の付け替えと新田開発」



パネル展示③「深野池新田と平野屋新田会所」



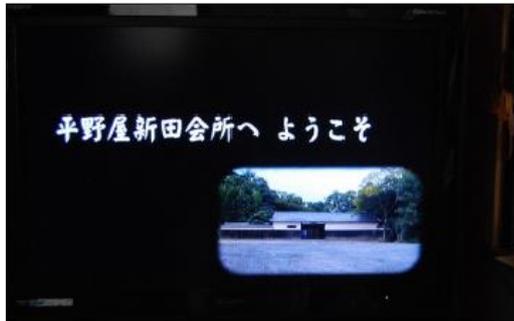
パネル展示④「深野南・河内屋南新田の会所遺跡」



パネル展示⑤「市民サポーターの紹介・会所跡活用のアイデア募集」

<上映映像・平野屋新田会所へようこそ>

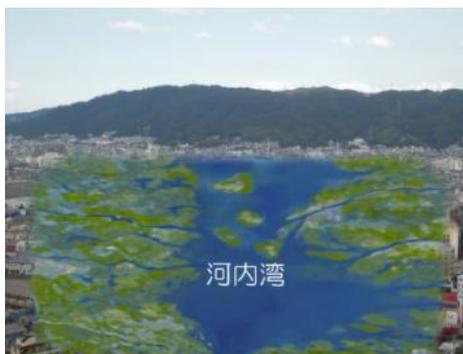
パネル展期間中、会場では私たち市民サポーターが制作した約6分間の映像「平野屋新田会所へようこそ」を上映しました。映像のあらまは以下のとおりです。



トップタイトル



泉小学校の屋上から見た会所跡地



5千年前の大東市イメージ



大和川の付け替え

ナレーション（抜粋）

大東市平野屋1丁目、泉小学校の東側の一角に、大東市教育委員会の看板、お知らせが立てられた空地があります。

この空地とその周辺こそが、8年前まで、平野屋新田会所が建っていたところなのです。私たち「平野屋新田会所市民サポーター」は大東市教育委員会の呼びかけに応じて集まり、この土地とその周辺にまつわる物語を振り返りながら、この地を有効に残すことを考えていこうという活動をしています。

いまから5千年ほど前、私たちが居住している大東市域はほとんど、生駒山のふもとに奥深く広がる河内湾でした。そして色々な地形の変化を経て、江戸時代までには旧大和川が大東市域をつらぬき、深野池・新開池を形成し、淀川に注いでいました。

そこで川の流れを変え、水害の原因をなくし、田や畑をひろげ、農業生産を上げるため、いわゆる「大和川の付け替え」が行われたのです。



ありし日の主屋棟



ありし日の米蔵



会所跡をガイドするサポーター



見学会の様子

各地の新田には「会所」といわれる施設が置かれ、その一つが「平野屋新田会所」です。

近年になって、高松家が所有していた会所跡を、文化財として残すために市が取り組み、市民運動も起こりましたが、もう一步のところまで市の買い上げとまでいかず、開発業者の手にわたり、残念ですが平成20年1月、取りこわされてしまいました。

いま、大東市は、市の発展の基礎を築いた文化財である平野屋新田会所跡地の一部を取得し、後世まで残そうと計画しているところです。

私たち「平野屋新田会所市民サポーター」は、市民の目線で、会所300年の歴史を残された一画を使ってどう伝えていくかを考え、皆で楽しみながら活動しています。

いま、市が打ち出している「歴史的資源を活かしたまちづくり」の一環として、この活動をみなさんご一緒しませんか。

参加をお待ちしています。

＜見学者からいただいた意見・感想・提案＞（原文通り）

- ★3Dを活用した新田会所の建物の再現を！（氷野 男性）
- ★電子回路を利用し、大和川の付替と大東市の新田開発の跡の資料館の建設
深野北南と河内屋
深野中と鴻池家
横山・中村・川中・御供田の各新田及び毛受と尼ヶ崎新田並びに深野郷学の重要性
と大東の学校
- ★史跡保存の構想を市民の手で実現しよう。
- ★5年後の会所跡楽しみです。（明美の里町 男性）
- ★会所跡の記録はビデオや写真・パネル等きちんと残し今回のような展示やPRを続けていただきたい。
- ★立派な建物があったのですね。なくなったのが残念です。少しでも役立てて下さい。
（市内 男性）
- ★跡地利用を早く知らせてほしい。VTR大変良かった。各学校等で活用してほしい。
（男性）
- ★鴻池新田会所にないもの 平野屋新田会所の周辺の環境 新田をしのばせる整備をして鴻池新田会所とリンクして発信すれば良い。
- ★新田を作った人々の苦労を後世に伝える事が市民として大切ですね。（平野屋 男性）
- ★過去の経緯を聴くたびにこの歴史的建物が失われてしまったのは本当に残念です。
- ★ウチの近くにこんなものがあるとは知りませんでした。（平野屋1丁目 S. N）
- ★すぐ近くに住んでいます。なくなって非常に残念！！文化財はなくなってから大切さ
がわかるものですね。教訓を活かして各地の文化財を伝える手本となることを祈って
おります。（門真市民 男性）
- ★パネル展・映像により、平野屋新田会所の歴史が大変良くわかり易く、感激致しました。
歴史を大切に伝えて頂き、ありがとうございます。
- ★跡地の利用プランを3Dで再現して、各案を公募して、決定案で実現する形で進めて
ほしい。（北条 男性）
- ★市民サポーターの皆さんの活動が新しく大東の歴史をつくっている。（女性）
- ★27日は、予定があり参加できないのが残念です。

★平野屋新田会所 飯盛城跡 堂山古墳 大東がほこるこれらの歴史的な遺産を重要文化財にすべき。(末広町 男性)

★こういった運動が、まずは市民に平野屋新田会所を知ってもらいきっかけになると思っています！！

★平野屋新田会所のジオラマを作ってください。(主婦)

多くの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。今後のサポーター活動の参考にさせていただきます！

◆詳報③ 見学会「旧河川と平野屋新田会所跡を訪ねて」

開催日：平成28年3月27日（日） 集 合：生涯学習センター・アクロス

参加者：一般参加8名、サポーター13名 コース：15ページ地図参照

パネル展「大東の遺産～平野屋新田会所跡と新田開発～」の関連事業として実施したこの見学会では、近世～近代・現代へと移り変わった会所跡周辺の歴史を旧河川の跡などをたどりながらガイドしました。

アクロスにてパネル展示と映像を見学し、新田開発と平野屋新田会所の過去と現代のつながりを見出した後、住道駅前しものの下野墓地では、江戸のころ栄えた角堂すみのどうはま浜の地名と河内相撲との関わりを墓石から垣間見ました。鐘ヶ淵紡績（カネボウ）の跡地に残された片側の門柱を見学し、往年の面影をしのびながら河内街道から古堤街道へと進みました。途中、吉田川・恩智川・鍋田川の三つの河川跡をたどり、水と共生しながらこの地に生きた人々の生活が見えたのではないのでしょうか。

平野屋新田会所は、新田開発後100年の間に、4人も所有者が変わりながら、最初の開発者の屋号「平野屋」は町名として残され、銭屋川は最後の所有者の屋号「銭屋」から名付けられました。会所と地域の人々とのつながりは、会所跡の北側に建つ「農民感謝碑」や東側の「坐摩神社」の秋祭りなどからもうかがえます。

当日参加いただいた方には、大東市の発展の基礎を築いた平野屋新田会所と周辺地域の歴史を体感していただけたと思います。

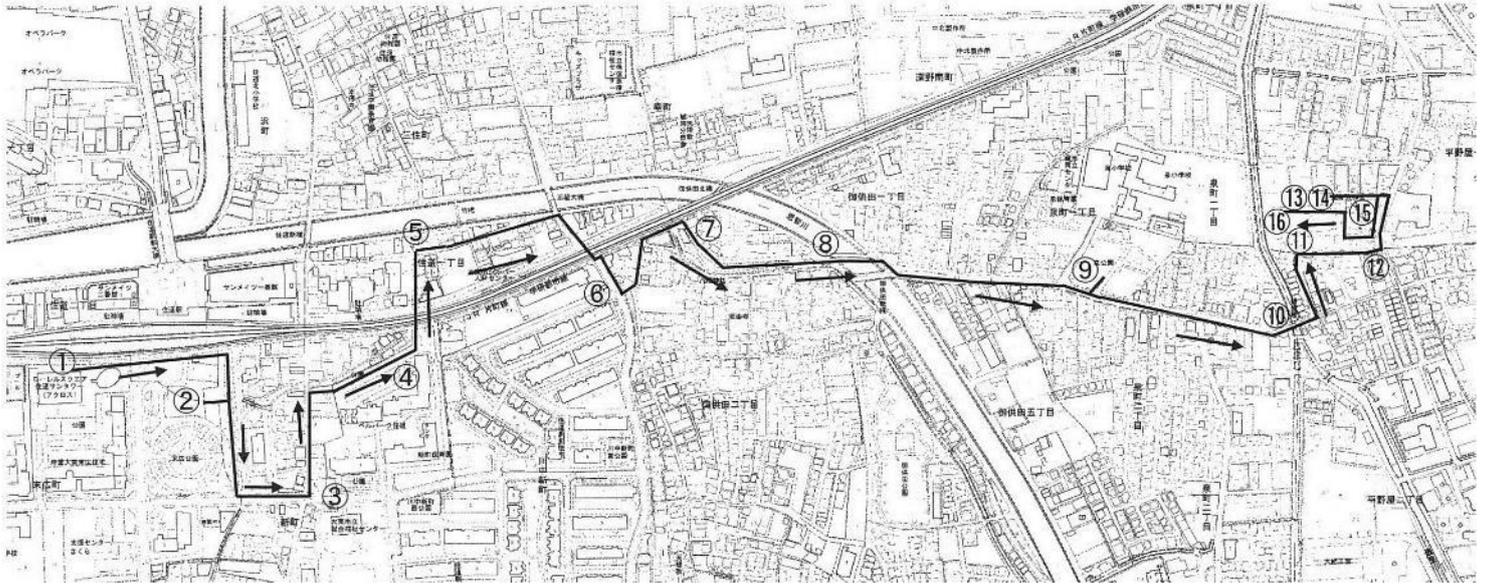


パネル展を見学する参加者



旧恩智川のガイド

<見学会「旧河川と平野屋新田会所跡を訪ねて」コース>



- ①生涯学習センター・アクロス (スタート) → ②下野墓地 → ③鐘紡前
→ ④河内街道 (川中公民館) → ⑤古堤街道碑 → ⑥旧吉田川 → ⑦旧恩智川
→ ⑧御供田歩道橋 → ⑨泉公園 (トイレ休憩) → ⑩銭屋橋 → ⑪旧表長屋門
→ ⑫旧鍋田川 → ⑬農民感謝碑 → ⑭旧裏長屋門 → ⑮坐摩神社
→ ⑯会所跡地 (ゴール)

II 市民サポーターの思い

◆ジレンマが先立つ1年だった。昨年度、我々が提案したことはどうなっているのか、この平野屋新田会所跡を大東市はどう持って行こうとしているのか、我々市民サポーターがすべきことは何なのか、ハッキリしない中途半端な年だった。(河村共之)

◆もっと多くの市民に関心を持って貰えるように努力する必要がある。

大東の歴史的遺産として、平野屋新田会所跡は飯盛山・三好長慶と並び欠くに欠かせない重要なものと認識している。大東市におかれてもその重要性を認識し、どう保存し、今後どのように活用して行くかの指針は、「平野屋新田会所跡の未来構想」として検討を進められている。

一方私たち、平野屋新田会所市民サポーターは、昨年度末に一年間の活動を振り返り、そして、この様な保存、活用が良いのではないかと個々人ではあるが報告書で提案した。しかし、残念ながら、今年度中に大東市で描かれる構想も、我々の提案も全く動くことはなかった。

翻って見るに、平野屋新田会所について市民間の認識がまだまだ不足とも思われる。では、それらを統合して、これから平成28年度はどうすれば良いのだろうか。

(河村共之)

◆途中参加 どんな事？と興味半分も一年半を経験しました。

見学会、勉強会等学べた事は少なからず。その間どちらかと云えば堂々巡り なかなか前進している実感が持てていません。

市政としての意向、実際が見えてこない。やや焦りもあり、本当に実現するのかと不安になります。当の高松家の考え姿勢も知りたいものです。

自分自身の体力、能力の不十分な事は自覚しているところです。(高見庸子)

◆市は観光課を新設された様、前向きと感じました。でも市長の意向、生涯学習課の進行の方向が知らされていなかった。日々の会合もどう持っていこうとしているのか見えず、ただ誘導されている感がある。ここまできているという具体的なところを知りたい。大東市各地区の代表(区長)と行政のかかわり、接点の場は持たれているのでしょうか。その辺からの協力も引き出せるはずですが？(高見庸子)

- ◆半年以上時間をかけて準備したこともあり、パネル、ガイド共に及第点。新田会所についての周知、啓蒙が目的であったにも関わらず、PR・広報不足で参加者を十分に集める事が出来なかった点は大いに反省し、次回以降に生かすべきである。

(柴田俊雄)

- ◆平成26年度に広く議論し、一定集約された会所跡の整備方針案や運用方法のその後の取り扱いについて、全く見えてこない。新しいサポーターを養成するにしても会所跡の将来ビジョンが見えない状況では中々PRしづらい。

そこで提言したいのは、これまで検討されてきた様々なデータを素地として、市民からパブリックコメントを得るため、フォーラムを開催してはどうでしょう。それも一部署だけでなく全市をあげて取り組み、市のやる気を市民に示すことが必要である。フォーラムで得られた多くの意見を集約し、市は早急にビジョンを市民に示せば啓蒙や周知は加速度的に進み、会所跡の整備等は現実味を帯びてくる。

今年度は大東市のやる気度が試される一年となるとともに、サポーターのモチベーションを左右する一年ともなる。(柴田俊雄)

- ◆サポーター活動をして一番よかったことは、近世の人々の生活や村々の営みについて考える機会をもらえたことです。また、治水工事や新田開発が単なる昔話ではなく、現在と未来へのヒント・教訓を含んでいる大事な宝であることを知りました。さらに、学習会や見学・調査で適度の体と頭脳を使える活動ができるのも良かったです。たくさんの人たちにサポーターになることをお勧めします。(水永八十生)

- ◆・前年度から進展がない。

- ・行政の考えがわからない。

- ・市民の関心が低すぎる。(中下志津子)

- ◆私たちの活動も、はや3年目を迎えようとしています。世間に出てきて間もない「平野屋」を、知れば知るほど興味がわいてきます。その方向は各人千差万別ですが、一緒に学んで、その「歴史」を、後に残したいですね。(中西昭治)

- ◆平成27年度から平野屋新田会所・市民サポーターとして参加した。この一年間振り返ってみて、一度失ったものを再びよみがえらせることが、いかに難しいことか考えさせられる。新田会所跡はそのことを語っている。そこで我々は、何をすべきか…？(中村義之)

◆平成27年度平野屋新田会所市民サポーターとして、今年度の特色は、講義を受ける内容から、11月に実施された現地への案内及び現地での説明会の実施は、メンバー全員が、各々市民サポーターの役割を十二分に市民に対して、アピール出来たと思う。今後もこうした活動で市民の同意賛同を得て、「形ある結果」に向け努力したい。(藤井俊吾)

◆退職をしてふと振り返ると、自分自身が大東市に住んでいるのに、生まれ育ちが違い、通勤や普段の生活だけで、大東市の事や歴史をしらない事に気が付き、先ず自分が大東市の事を色々知り、「他の市民の方」や「他の市の市民の方」に広くアピールして、大東市を知って貰おうと考え、その1つの方法として「平野屋新田会所市民サポーター」の活動に参加させて頂きました。

平成26年4月頃から、約2年ほど活動が続けて来て、各講座や他の会場の見学をして、その後自分達で、資料に伴いパネルを作り、平野屋新田会所までのルートを考え、一般の方に見学会を開けるまでになった事は、活動が続けてきて少しは大東市のアピールが出来たかと思えます。まだまだ「平野屋新田会所」のアピールは足りないと考えますので、この先アクロスでの、展示会や現地見学会をキッカケに、今後は跡地を整備して、「一般向けの講座や見学会、体験型集会、当時の遊びや料理等」を充実して市内及び市外にも、もっともっとアピールをしていく活動に行きたいと、考えます。(飯塚利幸)

◆初年度は全く知らぬ事ばかりで、聞くこと、見る物の全てが、新鮮で参加することが楽しみであった。2年目はガイドの為の下見、打ち合わせ、パネルの作成をして、11月29日には平野屋新田会所跡と新田開発の井路めぐりをする。パネルを持つての説明も好評であったと思えます。自分的には勉強不足もあり、ガイドも出来ず、準備の手伝いに終始したことが心残り、今後はもっと勉強して、ガイドができるようにしたいと思うところです。(木原哲也)

◆今年の活動やガイドを見るに、できるだけ早く、平野屋新田会所跡の基礎がある部分の米蔵及び道具蔵を復元させて、郷土を学ぶところとしての、環境を整備して貰いたいと思うところであります。さすれば、中身のある説明も出来ると思えます。又近隣の古い農具等も集められるのでは、それらが蔵に展示できれば最高で、と思うところであります。(木原哲也)

◆当初、興味本位で参加した市民サポーター活動でしたが、皆様方の熱意に引きずられながらも仲間の一員となった実感がわいてまいりました。サポーター間の意見交換も増々活発になってきました。「・・・だったら」との言葉は好きではありませんが、この平野屋新田会所跡に足を運ぶ度に思う事は「ああ・・・会所が残されていたら」とつい思う所が本音です。こうして少しずつ関わり足を運ぶうちに何となく当時の会所の景観が浮ぶようになってきました。

27年度の活動は大東市の礎となった新田開発や会所の役割を広く市民にPRすることでしたが、スタートとしてはまずまずであったと思います。次年度からの展開としては、引き続き市民等へのPR活動の継続と、平成26年度の活動報告書の中身を基に、官民協働の具体案の絞り込みを中心に行う事が、喫緊の課題だと考えます。また、会所との関連性に鑑み、坐摩神社の位置付けや役割についても議論を深めていければと考えています。(林田恵子)

◆私は、恥ずかしながら、「平野屋新田会所」についても平野屋新田会所市民サポーターについても知りませんでした。きっかけにより身近になりサポーターに参加して少しずつではありますが、市の歴史について知ることができました。今後は市の発展の礎となった場所を起点とし、歴史都市大東のこれからにつながる取り組みに参加できることは大いに楽しみです。(山下三香)

おわりに

平成26年度からはじまった平野屋新田会所市民サポーター活動に参加して2年が過ぎました。私たちは平野屋新田会所跡を、未来に残すべき価値ある遺産と考え、このすばらしい遺産をどのように保存し、活用していくか、そして、どのようにして会所跡の価値を多くの方にお知らせしていくか、などを考え、仲間たちと活動を続けています。

この2年間、講座や見学会などに参加し、さまざまな知識を習得してきました。そして昨年11月には、初めて私たち市民サポーターの企画運営による見学会を実施しました。また、3月にはパネル展示・映像による会所跡の紹介と見学会を開催し、より多くの方に平野屋新田会所跡への理解を深めていただき、保存・活用についての貴重なご意見をお聞きする機会ともなりました。

現在、大東市の方でも平野屋新田会所跡地とその周辺を含めた整備方針について、関係者との間で調整・検討されていると聞いています。会所跡の保存・活用については、さまざまな意見があり、乗り越えるべき課題も多いようですが、私たちは、大東市の誇るべき歴史遺産である平野屋新田会所跡が、最も適切な方法で整備・活用されるよう、市民全体の機運を盛り上げていきたいと考えています。

今後も、私たちの活動にご理解・ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

平成28年3月吉日

平野屋新田会所 市民サポーター 一同

平成27年度 平野屋新田会所 市民サポーター

氏名	住所	加入年度
飯塚 利幸	北条6丁目	平成26年度
今井 享	泉町1丁目	平成26年度
大藪 庸子	灰塚2丁目	平成26年度
河村 共之	北条1丁目	平成26年度
川内 勇二郎	灰塚4丁目	平成27年度
木原 哲也	明美の里町	平成26年度
柴田 俊雄	明美の里町	平成26年度
高見 庸子	太子田1丁目	平成26年度
中下 志津子	泉町1丁目	平成26年度
中西 昭治	諸福5丁目	平成26年度
中村 崇明	三住町	平成26年度
中村 義之	緑ヶ丘2丁目	平成27年度
林田 恵子	明美の里町	平成26年度
福本 勉	中垣内1丁目	平成27年度
藤井 俊悟	氷野4丁目	平成26年度
水永 八十生	平野屋1丁目	平成26年度
山下 三香	新町	平成27年度

平野屋新田会所 市民サポーター活動報告書

平成28年3月31日発行

発行 平野屋新田会所 市民サポーター会議

事務局 大東市教育委員会 生涯学習課

〒574-0076 大東市曙町4番6号

TEL 072-870-9105